



校長室だより No.2 令和7年5月1日

柏市立風早南部小学校

校長 伊藤 喜美子



きれいな学校から 良い学びが生まれる

<学校教育目標>

『自ら考え判断し、
表現する子』

【目指す児童像】

- 自ら考える子
- 自ら判断する子
- 自ら表現する子

5月に入り、柔らかな若葉が目に見え、鮮やかな季節となりました。校庭の二本の桜も葉桜となり、若々しい青葉のもと、子どもたちは元気いっぱいに学校生活を送っています。新年度が始まって約1ヵ月。新しい学年や学級にも慣れてきた様子で、高学年の子どもたちが、委員会活動に意欲的に取り組み、学校全体を堂々とリードする姿を頼もしく思う今日この頃です。

さて、今月の全校集会では、本校の合言葉である「あいさつとおそうじとお花の学校」から掃除について取り上げ、次のような話をしました。

今月は、「おそうじの学校」についてお話をします。こんなポスターを見つけました。どうして学校で掃除をするのでしょうか？また、みんなが頑張っている

「黙働清掃」なぜ、黙って掃除をするのでしょうか？そこで、保健美化委員会の委員長さんと副委員長さんにその理由を話をしてもらいました。

なぜ、掃除をするのか？それは「掃除をしないと虫が出てきたり、病気になってしまうから」そして、なぜ黙って掃除をするのか？「黙働清掃は、自分の心を成長させて、集中力が上がって、ごみを見つけやすいから。だから、皆さん、黙って一生懸命掃除をして、きれいな学校にしていきたいと思います。」と話してくれました。

黙って掃除をすることにより、集中力も上がるということは、学力の向上にもつながります。また、汚い環境、汚い学校からは、良い学習や生活は生まれません。やはり、きれいな環境、きれいな学校から良い学習や生活が生まれると思います。自分の心を高めるためにも掃除がある。集中力を高めるためにも掃除がある。掃除を通して、心を成長させ、意欲的に学習にも取り組めるようにきれいな学校づくりをしていきたいと思っています。

今月は、運動会も予定され、子どもたちが活躍できる場面が多くあります。子どもたちの一生懸命な姿を応援しつつ、成長を見守っていこうと思います。引き続き、保護者の方や地域の方々のご理解、ご協力をお願いいたします。

